

前回に引き続き、
王隠堂農園交流の感想をお届けします

知らなかったことだらけ！

G.C のケチャップが大好きで毎回頼んでいます。今回は、成人の娘と共にとても貴重な体験をさせていただきました。生産地の環境、生産者さんの想いを聞かせていただきファンになってしまいました。

特定技能外国人の方が「自分の国（実家）ではこんな農業をしている」、「農業を学ぶなら日本に行きなさい」と農業留学を後押ししてくれたご両親のこと、言語文化などをお話してくれました。寒さ暑さに負けず日本の生活に馴染みながら愚直に働いている研修生でした。娘は、研修生と日本のアニメについて話をしていました。

王隠堂さんからは、広大な農地と栽培管理、実際に商品になる梅の木など見せていただきました。「柿」の収穫体験をさせていただきましたが、低いところの実実は腰をかがめ、高いところの実実は脚立で実には傷がつかないように1つ1つ手で収穫していく作業は、本当に大変だと思いました。体験から帰宅してからは、商品購入の時に生産者さんはどんな人かな？どんな方法で栽培をしているかな？と想像しながら注文するようになりました。商品を通じて生産者さんとコミュニケーションしている気持ちです。貴重な体験をいただきありがとうございました (K)

王隠堂の皆さんと、外国人実習生の方との柿の収穫を通しての交流会に参加させて頂きありがとうございました。

柿の収穫も不安定な斜面に脚立を建て高い所まで登っての作業や、夏の暑い時期の雑草抜きなど、または怪我をしたお話など、柿だけではなく消費者の食卓に届くまでこうした事を乗り越えて私達は食べる事が出来る事に感謝しないとイケないと改めて思いました。

● 日本の農業の後継者不足はもう何年も前から問題になってますが、日本人だとどうしても嫌なら辞めてしまいがちな所に、期間が予め決められている外国人実習生を雇用する事はもう自然の流れなんだなと思いました。日本で学んだ技術を母国で活かすのか、日本に住むための生活手段なのか、母国の家族に仕送りする為か、実習生の方も目的は人それぞれなんだなと何となく感じました。

あと、ご一緒したインドネシアの青年お二人の日本語が達者で関心しました。ただ、外国人実習生を雇用するにも、農業は良いが加工はできないなど、課題はまだ色々ありそうですね。そんな中でも、王隠堂さんは日本人のボランティアにも農作業を手伝って貰ったり、あらゆる人種人脈や地域と手を組んでノウハウをフル活用して凄まじい底力を感じました。印象に残ったフレーズは、一人勝ちではなく、近隣農家を味方につけること、そうじゃないと生き残っていけないとのことでした。農業にもっと関心を持つ為にどうしたら良いのかに対して王隠堂さんの活動はとても現実的で、方法はあるかもよって事を教えて貰った一日でした。(I)

産地を育てる、支えることで
「食」を守れる

ミニ知識

王隠堂さんの柿畑は緑の草が生えていました。道中の別の農家さんの柿畑は草が茶色に枯れていて、「除草剤を使用してる畑はこうなる」と教えて頂きました。

ニュースで聞く世界ではなくて
人として出会えた

グリーンコープ生協おおさか
ふくし委員会通信

その5
1月号
2024.吉日

王隠堂さん
VOL2
ふくし委員
編集：内山



脚立に乗って手作業で収穫

農福連携で国から優良認定うけてます。

● 今回お会いできた特定技能外国人のお二人は技能実習を終えた後、一度インドネシアに帰国し、改めて選抜試験を受けて再度来日したとのこと。選抜試験に合格しただけあって、日本語もかなり流暢で意思疎通もスムーズにできることに驚きました。日本のアニメが好きだとお話しされていました。「何か困ったことはないですか？」との質問には、「困っていることは特にはない、近くのスーパーでは置いてないインドネシアの調味料などはネットで購入している」とのこと。「円安の影響は？」と聞くと「為替の推移を見ながら仕送りしたりと工夫している」との話でした。

● 王隠堂さんでの契約は来年2月までで奈良に来る前は北海道でとうもろこしの収穫をしていた、ここでの期間終了後は恐らく沖縄に行くことになるだろうとお話で、繁忙期の地域でスポット的に仕事されている様子がわかります。

故郷の若者はインドネシアで働くよりも稼げる海外で出稼ぎしている人が多い、日本の農作物はインドネシアで栽培されている物とは違うので、インドネシアで直接この技術が役に立つ訳ではないが、経験としては良いかなというお話しでした。

王隠堂の担当者のお話では、外国人の受け入れは単に安い労働力だからという理由ではない（日本の最低賃金は守られているし、派遣元への管理費、住居も準備しなければならない等の負担もある）しかし、日本人のように私用で休むこともなく、途中で辞めたりせず決められた任期を全うしてくれるので、事業が計画的に進められるとのことでした。

王隠堂さんでは、日本人の農業ボランティアの受け入れや農業と福祉の連携も既に始めておられるとのこと。グランピングやカフェを作ったのも過疎化が進むエリアで何とかしなければと危機感を持って取り組んでいるからだとお話をされていました。

外国から見て、今のところ日本はまだ出稼ぎに行く先として、行っても良いと思ってもらえる状況ですが、今後は途上国も経済発展が進み、日本で働くメリットが無くなってくれば作り手がおらず、国産の物が手に入らなくなるのではないかととても心配になりました。

普段生活しているとなかなか見えにくい問題ですが、私達が食べている国産の物は日本人ではなく外国人の手によって作られていることを消費者はもっと認識すべきだと思います。今回の交流会の報告が外国人の実習生について知る1つのきっかけになってくれたらうれしいです。人権面から世界的に批判を受けている技能実習制度も今後変わっていくようなので、これからも注目していきたいと改めて思いました。(Y)

ミニ知識その2

グリーンコープでは、王隠堂さんの柿・梅・梅干し（他にもあります）が購入できます。王隠堂さんの産地は奈良。和歌山の梅に比べて収穫時期が遅い。すると、収穫しても巷のスーパーや加工メーカーでは需要が低く安くしか売れない状況…。だから、自社で加工して販売することにしたそうです。



アニメで覚えた日本語が上手くて！

● 王隠堂農園さんの特定技能実習生の方が、日本のアニメが好きで日本に行こうと思ったり、アニメで日本語が上手になったと知りました。好きな事があるのは本当に素敵なことだと改めて思いました。

● 日本で「不便なことが全くない！」という若者の順応性にも感動しました。

そして何よりも、こういう企画を実現してくる「ふくし委員会」とても楽しいです♡(S)

ふくし委員会に入って、一緒に活動しませんか？

今年度 活動予定日

2月2日(金)、3月8日(金)

10:30~12:30

託児あり

場所：中央会館（長堀橋駅）ZOOM参加も可

ご興味のある方は左記に

ご連絡下さい！

お問い合わせ先

グリーンコープ生協おおさか 堺センター

☎ 072-289-6320

e-mail t0kmja8@greencoop.or.jp
ゼロ